

# 学級活動指導案

題材「相手を傷つけない SNS 上のコミュニケーションの仕方を学ぼう」〔学指要領:(2)イ〕

人権教育 重要課題 (10) インターネット等による人権侵害

令和 5 年 10 月 27日(金) 第5校時 5 年〇組教室

## I 題材の構想

### 1 育成を目指す資質・能力及び児童の実態

	資質・能力	児童の実態
知識及び技能	・SNS 上のコミュニケーションにおける問題に対して、相手の人権を傷つけないために必要な知識や行動の仕方を身に付けるようにする。	(削除)
思考力、判断力、表現力等	・SNS 上のコミュニケーションにおける問題の事例に対し、話し合いを通して、相手を傷つけないための方法を意思決定し、実践することができるようにする。	(削除)
学びに向かう力、人間性等	・クラスでの話し合いを通じて、SNS 上のコミュニケーションにおける自己の課題を見つけ、解決に向けて行動することで、よりよい人間関係を形成しようとする態度を養う。	(削除)

### 2 評価規準

知識・技能	・SNS 上のコミュニケーションにおける問題に対して、相手の人権を傷つけないために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。
思考・判断・表現	・クラスでの多様な意見を基に、SNS 上のコミュニケーションにおいて相手を傷つけないための方法を意思決定し、実践している。
主体的に学習に取り組む態度	・クラスでの話し合いを通じて、SNS 上のコミュニケーションにおける自己の課題を見つけ、解決に向けて行動することで、よりよい人間関係を形成しようとしている。

### 3 人権教育とのかかわり

近年の情報化社会の急速な発展により、子供たちを取り巻くインターネット環境も大きく変化している。SNS を使ったコミュニケーションが身近になり、時間や場所を問わず様々な人々と繋がることもできるようになった。しかし、一方で、SNS 上でのいじめやトラブルも多発している。それは、互いに相手の表情や話し方などの感情が伝わらない中で、文字の情報だけが相手に送られることによって、受け取る内容に誤解が生じてしまうことが原因の一つであると考えられる。

そこで、本題材では、SNS 上のコミュニケーションにおける問題の原因をクラスで話し合い、実際に一人一人がメッセージを作成する活動を通して、見えない相手を傷つけないようにコミュニケーションを取る方法を学んでいく。さらに、SNS でのコミュニケーションは日常生活の延長線上にあることに気付かせ、日常生活においても相手の気持ちを考えたり、相手の受け取り方を想像したりして行動することで、よりよい人間関係を形成しようとする態度を育てたい。

#### 【育てたい能力・態度】

○知性: コミュニケーションツールとして便利な SNS も、気を付けて使わないと他人を傷つけてしまうことを知り、人権を尊重することの大切さを理解する。

○判断力: SNS を使用する際、内容をよく精査してから発信するなど、相手の気持ちを考えたり、相手の受け取り方を想像したりすることができる。

○実践力: SNS 上のコミュニケーションを通して、自己の課題に対する解決方法を知り、生活の中で実践しようとする。

### 4 指導及び評価、ICT 活用の計画

過程	日時	主な活動	目指す児童(生徒)の姿 (観点)〈評価方法〉
事前	7/14	・SNS に関するアンケートを取り、実態を把握すると共に、話し合いのグループ編成に活用する。(あ)	・SNS 上のコミュニケーションにおける問題を自分事として考えようとしている。 (主)〈Jamboard〉
	10/25	・SNS 上のコミュニケーションにおいて、相手を傷つけない方法を理解するために、教材を用いて、友達が落ち込んでしまった「原因」を個人、グループで考える。(い)、(う)、(え)	

本時	10/27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS 上のコミュニケーションにおいて、相手を傷つけない方法を理解するために、「原因」を全体共有し、「原因」について深められるようにする。(い)、(う)、(え)</li> <li>・相手を傷つけない方法を身に付けることができるように、LINE の文面を個人で作成し、全体で共有する。(お)</li> <li>・今後、相手を傷つけないコミュニケーションをとるときに気を付けることや大切にしたいことを個人目標として決定させる。</li> </ul>	※展開参照
事後	随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人目標を定期的に振り返らせ、継続した指導を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達を傷つけない言葉を選んでメッセージを送ったり、会話をしたりすることができる。</li> </ul> (思)(主)<観察>

\*活用する学習支援ソフト等:(あ)Google Forms (い)生きる力 p.147 (う)Jamboard (え)Google スライド  
(お)ムーブノート

## II 本時

- ねらい SNS 上で起こりうる問題について、原因を全体で深め、実際に相手に送る文面を作成する活動を通して、相手を傷つけないコミュニケーションの仕方を身に付けることができるようにする。
- 人権教育の視点
  - 判断力: SNS 上でやり取りをする際には、送信する前に相手を傷つける文面になっていないか、よく確認する。
  - 実践力: SNS 上での相手を傷つけないコミュニケーションの仕方を考え、実践しようとする。
- 展開 【★ICT活用に関する事項】

主な活動 予想される児童の反応[S]	○指導上の留意点 ◆目指す児童の姿(観点)
1 前時の活動を振り返り本時のめあてを確認する。 (3分) S:前の時間では、マイさんが落ち込んでしまった原因をグループごとに発表し、分類するところまで進んだね。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             &lt;めあて&gt; SNS 上での相手を傷つけないコミュニケーションの仕方を考えよう。           </div>	○前時までの内容を振り返りやすくするため 4 コマを映す。【★提示】 ○本時のめあてを児童に思い出させる。声に出して確認させると同時に、活動の後半に「メッセージの作成」があることを強調し、めあての意図(相手を傷つけてしまった原因を理解することとまらず、原因に気を付けながらメッセージを作成する活動を行うことで、今後の生活に生かしてほしい)を明確に伝える。
2 落ち込んでしまった「原因」について全体で深める。 (12分)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             ◎「私はマイさんを励まそうとして LINE を送ったけれど、どうして、マイさんは落ち込んでしまったのでしょうか。」           </div> S:「最悪という言葉を書いたことが原因」と発表したグループが多いね。「最悪」よりもっと印象のよい言葉を書けばよかったんじゃないかな。 S:「メッセージの捉え方は人それぞれ違う」からこそ、誰が読んでも自分の気持ちが正しく伝わるように、言葉を詳しく書く(打つ)必要があると思った。	○活動の流れを伝え、本時の見通しをもたせる。 (全体で原因を深める→個人で LINE のメッセージを作成する→全体共有→振り返り)  ○全体で意見を言う時に、「話し方名人」「聞き方名人」を意識させる。 ○各グループの原因(ホワイトボード)を分類して貼り付けたり、重要点や共通点などは色を使って板書したりすることで、原因を深められるようにする。 ○文字のみのやり取りは自分の気持ちが正しく伝わりにくく、気持ちが正しく伝わらないことで、送った人も受け取った人も嫌な気持ちになる場合があることを確認する。
3 「原因」について全体で深めた意見を基に、私の立場になって個人でメッセージを作成し、解決するための方法として全体で見せ合う。【★保存・提出】 (20分) S:「マイ、今日はシュートはずしちゃって落ち込んだかもしれないけど、あの場でのシュートはナイスだったと思うよ。また一緒にがんばろう!」 S:「最悪だったね」ではなく「落ち込んだかもしれないけど」という言葉に置き換えることで、優しい印象に捉えられた。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           作成したメッセージの内容から「相手を傷つけないコミュニケーションの仕方を考えることができているか。 【判断力】         </div> ○メッセージ作成で手が止まっている児童には、共有されたいくつかの「原因」のうち1つを選ばせ、その原因を解決できるよう助言する。 ○正しく気持ちが伝えられている友達のメッセージには、拍手とコメント(どの部分がよかったかを打つ)をするよう指示する。 ○コメントで手が止まっている児童には、他の友達が送ったコメントを参考にしてよいことを伝えたり、具体的に褒めるコメントが作成でき

<p>S:「ナイス」など、前向きに捉えられる言葉を使っているのがよかった。</p> <p>S:「がんばって」ではなく、「がんばろう!」と書かれると寄り添ってくれている感じがした。</p>	<p>た児童に中間発表させたりすることで、作業に取り組みやすくする。</p> <p>○児童のメッセージを紹介すると同時に、メッセージのどの部分がよかったのか確認する。【★共有】</p> <p>○作成したメッセージのよかった点を板書することで、個人目標の決定や今後の実践に生かせるようにする。</p>
<p>4 本時のめあてを振り返り、個人目標を決め、実行への強い決意をもたせる。(10分)</p>	<p>○今後、相手を傷つけないコミュニケーションをとるとき、どのようなことに気を付けていきたいか問いかけ、個人目標を決めさせる。</p> <p>○個人目標が決定できない児童には、原因の再確認を行い、自分にできそうなことを選ぶよう助言する。</p> <p>○「こうしなさい」と指示するのではなく、「あなたはどのように思いますか」など児童に寄り添いながら問いかけるような指導をする。</p> <p>○机間巡視をし、SNSにとどまらず、日頃の会話などでも相手を傷つけないコミュニケーションを意識している(広がりを見せている)児童を指名し、発表させる。</p> <div data-bbox="746 667 1501 752" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>相手を傷つけないコミュニケーションにおける目標シートの内容から、自分の課題に合った目標を決めているか。【実践力】</p> </div>
<div data-bbox="161 779 1401 1010" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>&lt;具体的な個人目標&gt;</p> <p>S: 今後コミュニケーションをとるとき、「相手はどう思うかな」と、相手の立場になって考え、読み返してから送ったり、発言したりできるようにする。</p> <p>S: プラスに捉えられる言葉を使うように心掛け、自分の気持ちが正しく伝わるようにしていきたい。</p> <p>S: SNSだけでなく、日頃の友達との会話や意思疎通も大切にして過ごす。</p> </div>	